

# 上川地区生活科・総合的な学習教育研究会

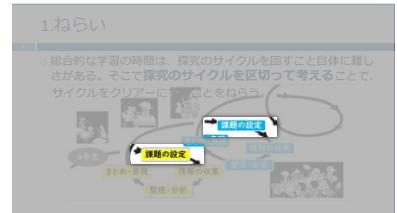
## 第1回定例学習会 振り返り

★本日の学習会で感じたことや考えたこと、明日の授業や他の教科で生かせそうだと思ったことをご入力ください。(Chat GPTで整理したもの)

### 1. 印象に残った内容・気付き

#### ・子どもと「対象（材）」との関わりの大切さ

- ・子どもが課題を見出すためには、まず対象（人・もの・こと）に親しみや愛着をもつことが重要。
- ・そのためには、体験的な活動が不可欠である。単なる情報収集ではなく、心が動く経験を通してこそ、子どもにとっての「問い合わせ」や「課題」が生まれる。



#### ・「課題設定」のプロセスを意識した单元構成

- ・小単元1では、材との出会い、関心の広がりを重視。
- ・小単元2では、ジレンマやギャップを感じる活動によって使命感や方向性の明確化を図る。
- ・小単元3では、自分の課題をもとに、実際の行動へつなげていく展開を設計する。

#### ・「問い合わせ」「問題」「課題」の違いを整理

- ・言葉の使い方や教師の「課題観」も授業づくりに影響する。
- ・研修では「課題設定の前段階」に注目し、そこにこそ教師の意図的な働きかけが求められることを学んだ。

### 2. 実践に生かしたいこと

- ・生活科での单元構成に活用：小単元ごとに目的を明確にし、「子どもと材の関係性を深める体験」→「探究心を刺激するきっかけ」→「自分ごとの課題としての実践」へつなぐ授業を意識していきたい。
- ・子どもの内にある“もやもや”を拾うアンテナをもち、課題の芽を見逃さないような日々の関わりを大切にする。
- ・個の課題を追究できる生活科の特性を生かして、個々の興味関心が学びに活きる授業づくりを目指したい。

### 3. 研修を通して得た視点

- ・課題設定は「課題を与える」のではなく、「課題をもてるよう育てる」こと。
- ・授業者が丁寧に構成することで、子どもたちは自らの課題を見出し、学びに意味をもたせていく。
- ・これは総合や生活科だけでなく、他教科にもつながる視点であると再認識した。

★本日の学習会で感じたことや考えたこと、明日の授業や他の教科で生かせそうだと思ったことをご入力ください。(原文ママ)

---

- とても良い学習会だと思いました。他の地域の実践を学ぶことができ、とても有意義でした。特に印象に残っていることは、子供が対象に対して、愛着や親しみを抱くからこそ、問い合わせを見出せるというお話です。対象への親しみや愛着を抱くのに、やはり体験活動は必要だと思いました。生活科にこの学びを生かして、指導していきたいと思います。
- 小単元1をまるごと使って課題設定することの有効性を改めて学ぶことができました。体験的な学びを経て収集された情報は、子供の心と学習材に近付けることを踏まえた単元計画を自校でも実現していきたいな、と思います。
- まず、大変充実した60分間でした。  
ショートの学習会だったにもかかわらず満足度が高かったのは、瀬尾先生の提案、程度な規模のブレイクアウトルーム（そこでの上川地区会員のファシリテート力…渋谷の3Gは小林先生がとても活躍していました！）、コンパクトな学習会テーマだったからではないでしょうか。杉立先生の企画力と運営力が素晴らしいかったです。
- 今回のテーマについては、
  - 「問い合わせ」「問題」「課題」など様々な表現が混在している現状があること
  - 個人の興味関心がある程度許容される課題や、方向性や切実感が明確な課題など、先生方の中にも多様な「課題観」があること
  - 課題が更新されていく学習過程のイメージを描くことが必ずしも容易ではないことなどが要因となって難しくなりがちなのですが、やはり瀬尾先生の実践を通して考えることができたので、よく工夫された学習会だったなと思いました。
- 上川地区のみなさま、ありがとうございました。
- 子供が何かを解決したいと真に思うところまでのプロセスを大切にしたいと感じました。
- 小単元1では、材との出会い、材についてよく知る、興味関心が広がるといったことから問い合わせが見出され、探究への意欲が高まっていくこと。小単元2では、教師からのギャップ（ジレンマ）が生まれるような意図的な仕掛けにより、児童の使命感が高まり、探究の方向性が定まり、個人の課題が生まれること（使命感が出てくる）。小単元3では、自分たちにできることを実践していくこと。と課題設定に目を向けることで、学習の見通しがもてました。
- 総合的な学習の時間のサイクルについて、改めて考えを整理することができました。課題設定からの出発ではなく、「課題設定までの道のり」を教師は大切にする必要があるのだと感じました。児童が潜意識的にもっているであろう「課題意識」を日々の関わりの中で感じ取っていくアンテナの精度を上げていくことが求められるのだと思います。それはどの教科にもつながるものであると思いますし、学級担任が授業をするというスタイルの大きな強みであることを再確認しました。
- 貴重な交流の機会でした。充実した学びの時間でした。実践改善へのヒントがたくさんありました。ありがとうございました。
- 課題設定というテーマでしたが、課題設定の前段階が大事だという渋谷先生のお話にとても納得できました。旭川では、まだ実践を持ち寄っての学習会ができていないので、上川の先生方とお話しできる貴重な機会でした。グループ討議の中で出ていた「生活科では個の課題を追求できる」という視点を大事に、来週からの授業も進めていきたいと思います！
- 子どもたちが課題を設定する前には、対象（材）との深い関りが必要不可欠だと考えています。だからこそ、問い合わせと課題の違いについて再確認できたことは大きかったです。また、課題設定までに時間

をかけ、子どもたち自身が、課題を自分事として考えられるように、教師がファシリテートしていくことの大切さについても再確認できました。

★本学習会の運営に関わって、質問や意見、要望などがありましたらご入力ください。  
(原文ママ)

- 次回も楽しみです。参加者が増えるよう、声掛けしますね。
- こんな学習会が各地区でも行われるようになるといいですね！
- 全体の場では、初めましての方は声を発しにくいので、今日のように指名してあげるか、歴が長い方に話してもらうかするとよいですね。色々改善しながら進めていきましょう。おつかれさま(^-^)
- 貴重な学びの機会をいただき、本当にありがとうございました。また、参加させて下さい。
- 短い時間で濃い学びができたと感じます。スムーズな進行や分かりやすい資料作成をありがとうございました！次も楽しみです！
- 開始時刻を少しはやめて、90分位でもいい感じですね。運営ご苦労様です。

次回は、7月10日です。

**情報収集**という視点で探究のサイクルについての学びを深めることができたらと考えています。

次回もよろしくお願ひ致します。

### 1.ねらい

- 総合的な学習の時間は、探究のサイクルを回すこと自体に難しさがある。そこで探究のサイクルを区切って考えることで、サイクルをクリアーにすることをねらう。
- その際、生活科における体験活動と表現活動との繋がりも見えたら良い。
- 探究のサイクルにおける各場面を切り取って、話し合うことを通して、その場面における大切なことを理解したり、優れた実践を汎用性のあるものにし、自身の実践に使えるようにすることで、明日の授業作りに生かす。

**上川地区生活科  
総合的な学習教育研究会  
Upcoming Events**

20:00～21:00 2025

6月 5	課題設定 総合的な学習の時間における課題設定の在り方について
7月 10	情報収集 総合的な学習の時間における情報収集、体験活動の質を高める手立てについて
9月 11	整理・分析について① 総合的な学習の時間における整理・分析、生活科における表現活動について
11月 13	整理・分析について② 総合的な学習の時間における整理・分析、生活科における表現活動について
12月 11	まとめ・表現 総合的な学習の時間におけるまとめ・表現の在り方について
3月 5	気付きの質を高める 生活科における気付きの質を高める指導の在り方について

第2回定例学習会  
日時 7月10日（木）20:00～21:00  
ID : 856 4440 1371  
パスコード : 061154

ご参加いただける方は、右の二次元コードより  
お名前とご所属をご入力ください。

